

骨粗鬆症継続治療の為に 骨代謝マーカーをお役立て下さい

(BAP：骨型アルカリフォスファターゼ)



骨粗鬆症をケアする医療スタッフも知っておくべき
骨代謝マーカーの知識

監修：健康院クリニック 細井 孝之 先生

患者さんの服薬継続に困ってませんか？
最近では様々な職種の医療スタッフが服薬のお手伝いをしています

骨吸収抑制剤は服薬の際に注意すべき点が多く、
服薬中断される事が多いと言われています。

服薬率低下の要因とビスホスホネート製剤服薬の注意点

低下要因

- 服薬の不便さ
- 服薬動機の不足
- 副作用の心配
- 治療効果の分かりにくさ

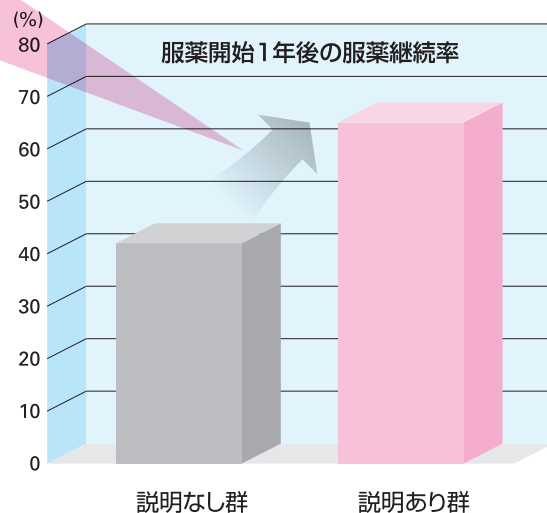
服薬指導における注意点

- 早朝空腹時の服用
- 水道水での服用(ミネラルウォーターは避ける)
- 飲食は服用後30分以上経ってから
(水以外)
- 服用時に立位または座位を30分以上保持



治療効果を患者さんに伝える事が服薬継続率の向上に繋がります

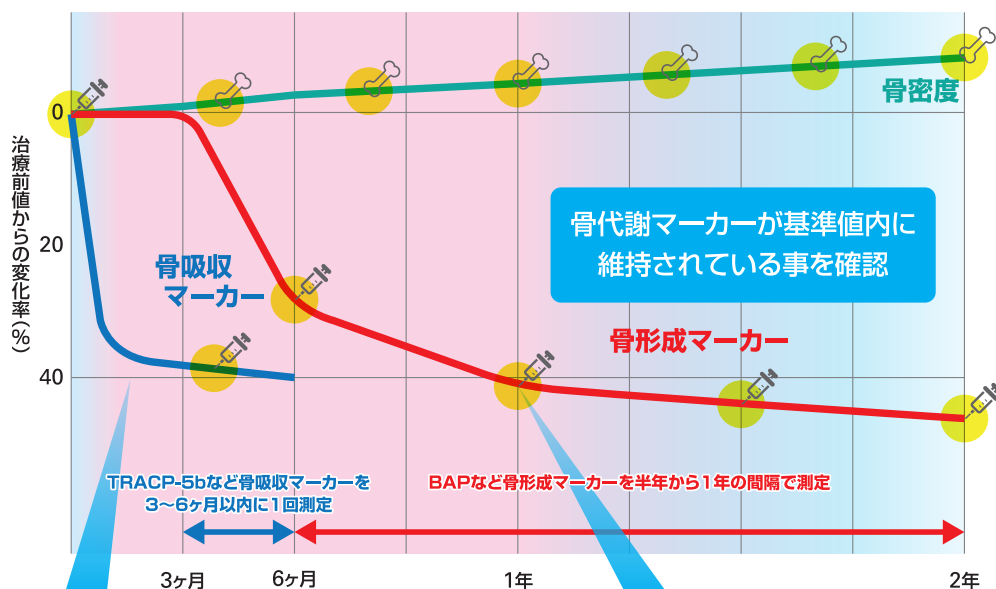
治療内容と骨代謝マーカーの
結果を説明する事により、
説明あり群は、説明なし群と比較して
服薬継続率が57%増加しました



Clowes JA, J Clin Endocrinol Metab, 89(3):1117-1123 2004より一部改変

ビスホスホネートによる治療効果を、 どうやってモニタリングすれば良いですか？

骨密度より鋭敏に動く骨代謝マーカーをおすすめします



骨吸収マーカーは治療後、比較的早く動きますので治療開始後3~6ヶ月以内の測定をおすすめします

6ヶ月以降は骨形成マーカーを半年に1回の目安で測定する事をおすすめします

保険診療上、骨吸収マーカーは治療開始時と治療開始後から3~6ヶ月の間隔をあけて、2回目の測定が認められています。

骨吸収マーカーは薬剤を変更した場合に限り、変更後6ヶ月以内に1回の測定が認められています。尚、骨形成マーカーは特に測定回数に関する縛りはありませんが、適切な使用をおすすめします。

日内変動が少なく腎機能の影響を受けにくいマーカーの測定をおすすめします

骨代謝マーカー	検査項目	日内変動	腎機能の影響
骨吸収マーカー	TRACP-5b	ほとんどなし	受けにくい
骨形成マーカー	BAP	ほとんどなし	受けにくい

望月善子他, 医学と薬学 54:895-902, 2005より引用

販売元



ヤマサ醤油株式会社

製造販売元

